

【給食協会賞】おいしくて楽しくて仲良くなれる給食

安城南部小学校 杉浦 佳樹

ぼくは、給食が大好きです。毎日給食を楽しみにして学校に行っています。給食が好きな理由について、考えました。三つあります。

一つ目は、白いご飯です。白いご飯のままやカレー、ビビンバ、ふりかけや他のものをかけたりするとおいしいです。わかめご飯も好きです。いつも必ずおかわりします。いただきますをしたあと、増やしに行きます。お茶わんに山盛りになると、友達は目を丸くしてびっくりします。ぼくのクラスには、ご飯が好きな人が、四、五人います。その中でもぼくは上皇と呼ばれています。二人目の友達は、天皇でその他の友達も天皇の息子と呼ばれています。

二つ目は、デザートです。フルーツゼリーや雪見大福や冷凍みかん、ヨーグルトや南吉クッキーが出る日もあります。今年初めて夏のお楽しみで雪見大福が出ました。何これと思って食べたらとてもおいしかったです。南吉クッキーはキツネの形をしたおいしいクッキーです。新美南吉が安城で先生として活やくしました。初めて見た時は、大きめのクッキーにビックリしました。

三つ目は、行事に係ったこん立が出たことです。例えば、七夕の時には、七夕汁や七夕ゼリーが出ました。天の川を表すそうめん、星の形のかまぼこやオクラが七夕汁に入っていました。七夕ゼリーも最

高でした。

四月は入学のお祝いにお赤飯が出ます。十二月はクリスマスケーキが出ます。クリスマスケーキは箱に入っていて、今年は何かなと思って箱を開けます。三月は、いがまんじゅうが出ます。行事に係っている食べ物が出ると、気持ちが盛り上がって、わすれていた季節を思い出します。

大好きな給食ですが、実は苦手なものがあります。それは、ピーマンと納豆です。ぼくは三年生までピーマンと納豆がほとんど食べられずに、減らしていました。でも、ちょっとずつ減らす量を少なくして、がんばって食べていたら食べられるようになりました。給食のおかげで、好ききらいが少なくなったので、うれしいです。それで、今は減らさないうで食べています。なぜ減らしていないかというところ、減らしたら残ぱんになって捨ててしまうし、作ってくれた人に感謝の気持ちがあるからです。

給食の時大事だと思うことは、みんな楽しんでおいしく食べて、仲良くなることだと思います。例えば、転校してきた子と席が近くなった時は、「今日の給食で好きなものは何？」

「南吉のクッキー食べたことある？」と聞きます。給食の時にたくさんお話して、楽しく食べればその子と仲良くなれるはずです。やっぱり給食は、おいしくて楽しくて仲良くなれるのでこれからも給食が楽しみです。